健康リスク初期評価結果一覧（17物質）

番号	物質名（ＣＡＳ番号）	有害性の知見（注１） ばく露経路	リスク評価の指標（注２）	動物	影響評価指標（エンドポイント）	ばく露評価（注１） ばく露の媒体	予測最大ばく露量・濃度	MOE・過剰発生率（注１，３）	リスクの判定（注４）	総合的な判定（注４，５）	過去の公表（注６）
1	アクリル酸 (79-10-7)	経口	無毒性量等（注７） 53 mg/kg/day	ラット	仔世代での体重増加の抑制	飲料水	〈 0.08 μg/kg/day	MOE 〉66,000	○	○	—
						地下水	― μg/kg/day	MOE ―	×		
		吸入	無毒性量等（注７） 0.026 mg/m^3	マウス	嗅上皮の変性	一般環境大気	0.13 μg/m^3	MOE 20	▲	▲	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
2	酢酸エチル (141-78-6)	経口	無毒性量等（注７） 90 mg/kg/day	ラット	体重及び臓器重量の増加抑制	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	○	—
						淡水	〈 0.015 μg/kg/day	MOE 〉600,000	○		
		吸入	無毒性量等（注７） 2.3 mg/m^3	ラット	体重増加の抑制、嗅上皮の変性	一般環境大気	26 μg/m^3	MOE 8.8	■	■	
						室内空気	200 μg/m^3	MOE 1.2	■		
3	シクロヘキセン (110-83-8)	経口	無毒性量等（注７） 5 mg/kg/day	ラット	流涎、流涙	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	○	—
						淡水	0.00052 μg/kg/day	MOE 960,000	○		
		吸入	無毒性量等（注７） 181 mg/m^3	マウス	影響のなかった最大濃度	一般環境大気	― μg/m^3	MOE ―	×	(○)（注８）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
4	4,6-ジニトロ-*o*-クレゾール (534-52-1)	経口	無毒性量等（注７） 1.1 mg/kg/day	ラット	授乳期の同腹仔数減少	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	○	—
						淡水	0.0027 μg/kg/day	MOE 41,000	○		
		吸入	無毒性量等（注７） ― mg/m^3	―	―	一般環境大気	― μg/m^3	MOE ―	×	(○)（注８，９）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
5	1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン (6165-51-1)	経口	無毒性量等（注７） 0.13 mg/kg/day	ラット	副腎の重量減少及び束状帯細胞の萎縮	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	○	—
						淡水	0.00068 μg/kg/day	MOE 19,000	○		
		吸入	無毒性量等（注７） ― mg/m^3	―	―	一般環境大気	― μg/m^3	MOE ―	×	(○)（注８，10）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
6	セリウム及びその化合物（セリウムとして）（ナノ材料としての評価を除く）	経口	無毒性量等（注７） 21 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制	飲料水・土壌	― μg/kg/day	MOE ―	×	(▲)（注11）	第8次
						淡水・土壌	0.37 μg/kg/day	MOE 5,700	○		
		吸入	無毒性量等（注７） 0.0072 mg/m^3	ラット	気管支リンパ節のリンパ組織増生など	一般環境大気	0.0027 μg/m^3	MOE 270	○	(▲)（注11）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
7	テレフタル酸ジメチル (120-61-6)	経口	無毒性量等（注７） 125 mg/kg/day	ラット	慢性腎炎	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	(○)（注12）	—
						地下水	― μg/kg/day	MOE ―	×		
		吸入	無毒性量等（注７） 1 mg/m^3	ラット	影響のなかった最大濃度	一般環境大気	0.00049 μg/m^3	MOE 200,000	○	○	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
8	トリクロロニトロメタン (76-06-2)	経口	無毒性量等（注７） 0.1 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制、肝細胞の空胞化	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	(▲)（注11）	—
						淡水	〈 0.0012 μg/kg/day	MOE 〉8,300	○		
		吸入	無毒性量等（注７） 0.12 mg/m^3	ラット マウス	生存率の低下、体重増加の抑制、鼻腔及び気管支組織の変性など	一般環境大気	〈 0.22 μg/m^3	MOE 〉55	×	(▲)（注13）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
9	*N*-ニトロソジメチルアミン (62-75-9)	経口				飲料水	0.00012 μg/kg/day	MOE 420	○	▲	—
			無毒性量等（注７） 0.005 mg/kg/day	ラット	肝の結節性過形成			過剰発生率 6.1×10^{-6}	▲		
			ｽﾛｰﾌﾟﾌｧｸﾀｰ 51 (mg/kg/day)$^{-1}$	ラット	肝腫瘍	地下水	― μg/kg/day	MOE ―	×		
								過剰発生率 ―	×		
		吸入				一般環境大気	― μg/m^3	MOE ―	×	(▲)（注8，10）	—
			無毒性量等（注７） ― mg/m^3	―	―			過剰発生率 ―	×		
			ﾕﾆｯﾄﾘｽｸ ― (μg/m^3)$^{-1}$	―	―	室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
								過剰発生率 ―	×		
10	ヒドロキノン (123-31-9)	経口	無毒性量等（注７） 1.5 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制、振戦	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	○	第5次
						淡水	0.0018 μg/kg/day	MOE 83,000	○		
		吸入	無毒性量等（注７） ― mg/m^3	―	―	一般環境大気	― μg/m^3	MOE ―	×	(○)（注8，9）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
11	6-フェニル-1,3,5-トリアジン-2,4-ジアミン (91-76-9)	経口	無毒性量等（注７） 0.4 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	○	—
						淡水	0.00048 μg/kg/day	MOE 83,000	○		
		吸入	無毒性量等（注７） ― mg/m^3	―	―	一般環境大気	0.00017 μg/m^3	MOE ―	×	(○)（注9）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
12	1-メチルナフタレン (90-12-0)	経口	無毒性量等（注７） 7.2 mg/kg/day	マウス	肺胞タンパク症	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	○	—
						淡水	0.00018 μg/kg/day	MOE 4,000,000	○		
		吸入	無毒性量等（注７） ― mg/m^3	―	―	一般環境大気	0.14 μg/m^3	MOE ―	×	(○)（注9）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
13	2-メチルナフタレン (91-57-6)	経口	無毒性量等（注７） 5 mg/kg/day	マウス	肺胞タンパク症	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	○	—
						淡水	0.00036 μg/kg/day	MOE 1,400,000	○		
		吸入	無毒性量等（注７） ― mg/m^3	―	―	一般環境大気	0.44 μg/m^3	MOE ―	×	(○)（注9）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
14	4,4'-メチレンジアニリン (101-77-9)	経口	無毒性量等（注７） 0.9 mg/kg/day	ラット	肝臓の脂肪変性、腫脹など	飲料水・食物	― μg/kg/day	MOE ―	×	(▲)（注11）	第7次
						淡水・食物	0.00039 ～0.0012 μg/kg/day	MOE 15,000 ～46,000	○		
		吸入	無毒性量等（注７） 0.52 mg/m^3	モルモット	眼の光受容細胞の変性など	一般環境大気	〈 0.016 μg/m^3	MOE 〉650	○	○	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
15	メチレンビス(4,1-シクロヘキシレン)=ジイソシアネート (5124-30-1)	経口	無毒性量等（注７） ― mg/kg/day	―	―	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	(○)（注10）	—
						地下水	― μg/kg/day	MOE ―	×		
		吸入	無毒性量等（注７） 0.02 mg/m^3	ラット	気道の炎症性変化など	一般環境大気	〈 0.00031 μg/m^3	MOE 〉6,500	○	(▲)（注13）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	
16	モノクロロベンゼン (108-90-7)	経口	無毒性量等（注７） 2.7 mg/kg/day	イヌ	肝臓の胆管増生など	飲料水	― μg/kg/day	MOE ―	×	○	パイロット事業
						淡水	0.008 μg/kg/day	MOE 34,000	○		
		吸入	無毒性量等（注７） 6 mg/m^3	ラット	肝細胞肥大、尿細管の拡張など	一般環境大気	0.079 μg/m^3	MOE 7,600	○	(▲)（注13）	
						室内空気	0.37 μg/m^3	MOE 1,600	○	○	
17	モリブデン及びその化合物（モリブデンとして）	経口	無毒性量等（注７） 0.9 mg/kg/day	ラット	性周期の延長、胎仔の成長遅延	飲料水・土壌	0.062 μg/kg/day	MOE 1,500	○	▲	—
						地下水・土壌	1.2 μg/kg/day	MOE 75	▲		
		吸入	無毒性量等（注７） 0.12 mg/m^3	ラット マウス	肺や咽頭、鼻腔組織の変性など	一般環境大気	0.0036 μg/m^3	MOE 3,300	○	(▲)（注13）	
						室内空気	― μg/m^3	MOE ―	×	×	

（注１）－：リスク評価の指標が設定できなかった、あるいは予測最大ばく露量・濃度が設定できなかった場合、ＭＯＥ・過剰発生率（がん）の算出ができなかった場合。

（注２）リスク評価の指標：本評価は基本的に安全サイドに立ったスクリーニングとして実施していること、情報の質、量は化学物質により大きく異なることから、化学物質間の相対的な毒性強度を比較するような場合等には、この数値を単純に使用するのではなく、更なる詳細な検討を行うことが必要。

（注３）ＭＯＥ：無毒性量等を予測最大ばく露量、あるいは予測最大ばく露濃度で除した値。但し、無毒性量等を動物実験から設定した場合には10で除し、さらにヒトで発がん作用があると考えられる場合には最大10で除して算出する。また、無毒性量等を発がん性から設定した場合には原則10で除して算出する。

（注４）○：現時点では作業は必要ない、　▲：情報収集に努める必要がある、　■：詳細な評価を行う候補、　×：現時点ではリスクの判定はできない。

（注５）リスク評価の指標が設定できない場合やばく露情報が把握されていないためにＭＯＥ・過剰発生率（がん）の算出ができず、リスクの判定ができなかった場合でも、関連情報から情報収集等の必要性について推定できた場合には、健康リスク評価分科会による総合的な判定により下記の通り分類した。

（○）：情報収集等を行う必要性は低いと考えられる、　（▲）：情報収集等を行う必要性があると考えられる、　（■）：詳細評価を行う候補と考えられる。

（注６）再評価物質については、過去において第何次のとりまとめで公表したかを示す。

（注７）無毒性量等：長期間の連続ばく露に補正したNOAEL又はNOAEL相当(LOAELを10で除した場合等)の値。

（注８）予測最大ばく露濃度が得られなかった物質：局所地域のばく露濃度、PRTRデータを用いた濃度予測結果、媒体別分配割合の予測結果、大気中での半減期、生産量及び物性などを考慮した。

（注９）経口ばく露又は吸入ばく露の無毒性量等が設定できなかった物質：　ばく露経路間の換算により算出した値を考慮した。

（注１０）経口ばく露又は吸入ばく露の無毒性量等が設定できず、ばく露経路間の換算などによる検討もできなかった物質：媒体別分配割合の予測、PRTRデータによる環境中への推定排出量、生成機構及び物性などを考慮し、ばく露シナリオによる検討を行った。

（注１１）環境中への排出状況を踏まえたばく露情報取得の必要性や他の物質の分解によるばく露の可能性などを考慮した。

（注１２）予測最大ばく露量が得られなかった物質：　過去のばく露量、局所地域のばく露量、生産量の推移及びPRTRデータなどを考慮した。

（注１３）PRTRデータを用いた濃度予測結果を考慮した。